

# 2015年3月期 決算説明資料

2015年5月22日



総合接着・樹脂加工

ポパール興業株式会社

# 目次

- 企業概要 ..... P 2
- 2015年3月期の業績 ..... P 14
- 2016年3月期の見通し ..... P 24
- 外部環境 ..... P 29
- 中期経営計画 ..... P 33

# 企業概要

# 会社概要 (2015年3月31日現在)

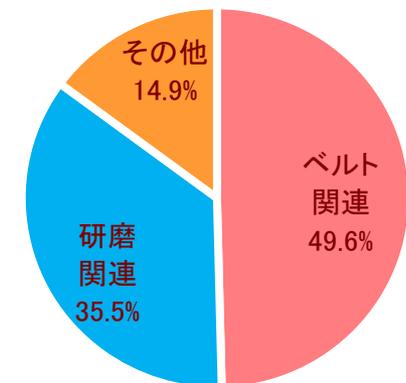
会社名	ポバール興業株式会社
設立年月日	1964年11月2日
代表者名	代表取締役社長 神田 隆生
所在地	名古屋市中村区野田町字中深30番地
資本金	179百万円
従業員数	106名(連結:165名)
事業内容	総合接着・樹脂加工品の製造・販売

拠点	国内拠点	東京営業所、静岡営業所、名古屋営業所 大阪営業所、福岡営業所
	工場	本社工場(名古屋)、大安工場(三重)
	子会社	POVAL KOBASHI (THAILAND) CO.,LTD. POBAL DEVICE KOREA CO.,LTD. 博宝楽輸送帯科技(昆山)有限公司



本社、本社工場及び名古屋営業所  
敷地面積:7,455平米

2015年3月期売上高構成比



# 会社の強み

## 創業57年 国産工業用樹脂ベルトのパイオニア的企業

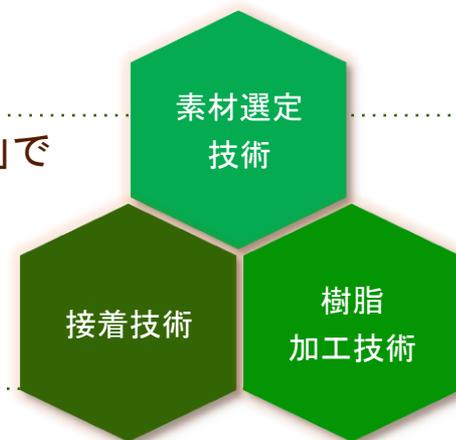
工業用ベルトといえば、ゴム製もしくは綿製が主流だった中、弊社は、いち早く樹脂を使用した工業用ベルトを製造・加工・販売した国産工業用樹脂ベルトのパイオニア的企業です。

## 素材選定から加工内容・製造納期・コストダウン等の提案、 一つ一つがカスタムメイドのポパールスペシャル

創業当初より「顧客の要望を真摯に受け止め、改良を重ね、応える」姿勢を貫き、今や取扱製品の大半が、受注生産した特殊樹脂製品です。

## 3つのコア技術

特殊製品を得意とする弊社は、「素材選定技術」「接着技術」「樹脂加工技術」で多岐にわたるものづくりの現場を支えています。



## 自立型社員が育つ社風・風土

定着率が90%以上(2015年3月期単体で97.1%)。

社員一人一人が高いモチベーションを維持し、共に現場目線で物事を考え、責任とプライドを持って行動しチャレンジしています。

## 沿革

1957年	5月	サカイ式無段変速機用特殊ベルトの製造・販売を目的として、 名古屋市西区浄心に神田製作所を設立 クラレポバロンシートにて樹脂ベルトの製造・販売を開始	
1961年	12月	作業場が狭くなり、現本店所在地である名古屋市中村区野田町に移転	
1964年	11月	株式会社に改組し、商号をポパール興業株式会社に変更	
1968年	1月	ベルト関連にて機能性ベルトである <u>紡績用ベルト</u> ( <u>コーマーエプロン</u> 、 <u>コンデンサーテープ</u> )の製造・販売を開始 ※当時はイギリス製のものが多かった	
1974年	1月	研磨関連にて <u>ブラウン管ガラス用研磨パッド</u> の製造・販売を開始	
1986年	2月	弾性回復率の高い特殊素材として、 <u>発泡ウレタン</u> の製造・販売を開始	
1998年	3月	顧客の細かなニーズに対応するため、 <u>自社製不織布</u> の製造を開始	
2001年	11月	タイ王国における事業展開を目的として、 チョンブリー県にPOVAL KOBASHI(THAILAND)CO.,LTD.を設立	
2006年	4月	大韓民国における事業展開を目的として、慶尚北道にPOBAL DEVICE KOREA CO.,LTD.を設立	
2011年	9月	中華人民共和国における事業展開を目的として、江蘇省に博宝楽輸送帯科技(昆山)有限公司を設立	
2014年	6月	名古屋証券取引所市場第二部へ上場	

# 社名【ポバール興業】の由来

## • ポバール興業は、

創業当初、ポバール\* (ポリビニルアルコール:PVA)を化学反応させて出来た合成樹脂ポバロンシートを加工した工業用樹脂ベルトを製造・販売していました。

ただ製造するのではなく、顧客ニーズに合わせて製品を創造していく、会社の姿勢を表しています。

## \*ポバールとは

ポバール(ポリビニルアルコール:PVA)は、ビニロン繊維の原料として、クラレが世界に先駆けて工業化した機能性樹脂です。ポバールは合成高分子の一種でありながら“水に溶ける”というユニークな性質を持つほか、造膜性・接着性・乳化性・耐油性・耐薬品性などに優れています。

これらの特長を生かして、ビニロンやフィルムの原料用途はもとより、繊維加工剤・紙加工剤・接着剤・塩化ビニルの重合安定剤など幅広い用途に向けられています。さらに近年は、自動車のフロントガラス用中間膜原料・インクジェット用紙等の情報用紙の加工剤・刷版材など新しい用途も広がっています。



【出所】株式会社クラレウェブページ

<http://www.poval.jp/>

[http://www.kuraray.co.jp/company/history/story/vinylon\\_poval.html](http://www.kuraray.co.jp/company/history/story/vinylon_poval.html)



# ポパール興業の特徴



## 素材選定技術

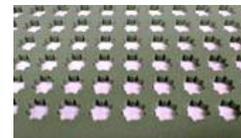
多種多様な素材の中から、製品の性能・用途・使用環境等に合う最適な素材を選定し、その特性を最大限に引き出すことが出来る最適な組み合わせをご提案。



製品の用途・使用環境等を勘察し、最適な接着技術にて、異種素材の組み合わせが可能。

- ①大型製品でも歪みがなく均一に接着できる、日本最大級の汎用大型プレスラインを保有。
- ②クリーンルームを保有。ゴミ・糸くずなどを排除した環境で高品質な接着も可能に。
- ③厚み精度等を大幅にアップした接着を可能とする精密接着ライン。
- ④弊社独自の接着・設計技術により、使用後の部材再利用を考慮したリサイクル接着も可能。

## 樹脂加工技術

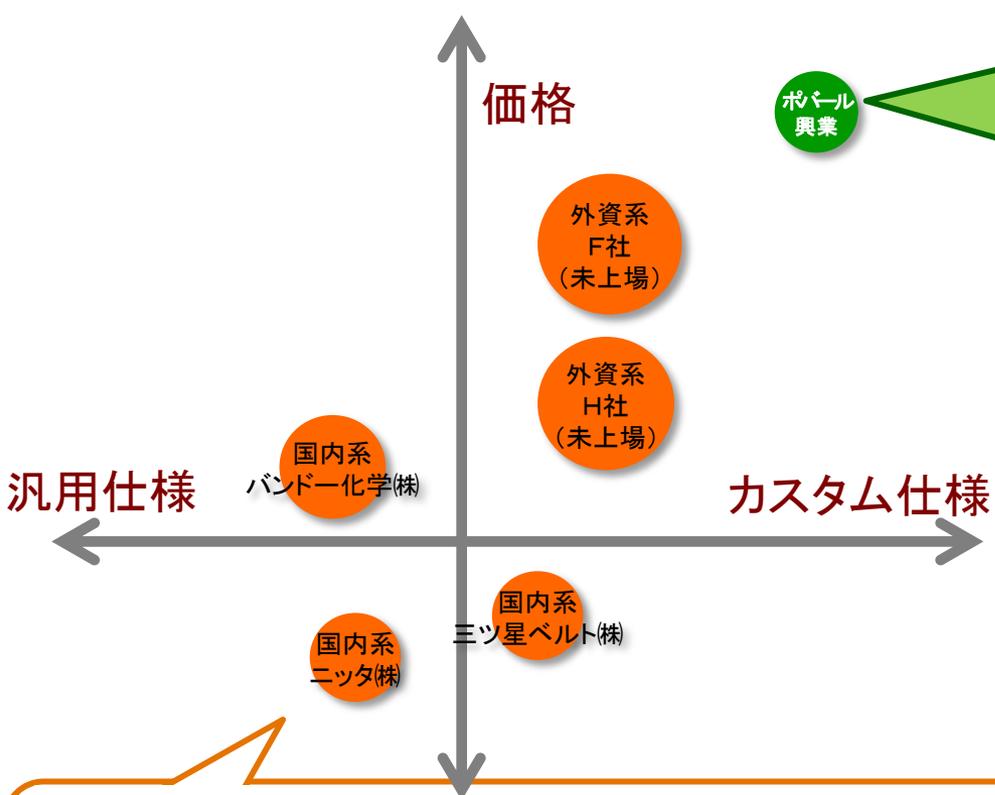


細かな要望に対応するため、専用機械と熟練した技術により一つ一つ丁寧に製品化。使用目的や環境に合わせ、ミクロン単位の超高精度な切削加工をはじめとする製品形成・部品取り付け・特殊機能の付加など、高度な技術を統合しながら様々な加工を施します。



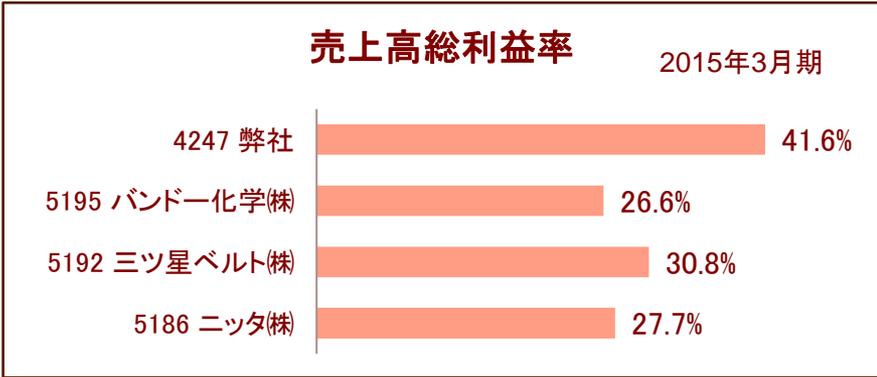
# 樹脂ベルト業界におけるポジション

- 国内樹脂ベルト市場において、上位6社に大きな差はなく、市場規模はおおよそ140億円で堅調に推移しています。
- 新規参入企業・海外からの輸入品の流入も殆どありません。



**弊社は**

- 受注後、製造開始。要望に併せ、幅・長さ・機能など製品をカスタムメイド。
- 短納期・少量・多品種・特殊用途に対応。
- 劣化などによるベルト交換時に導入されることが多い。



**他社は**

- オリジナルの原反で、機能性よりも使い勝手を追求した製品を提供。
- 機器の標準仕様品として、組み込まれているケースが多い。
- 既製品としての販売が大半。

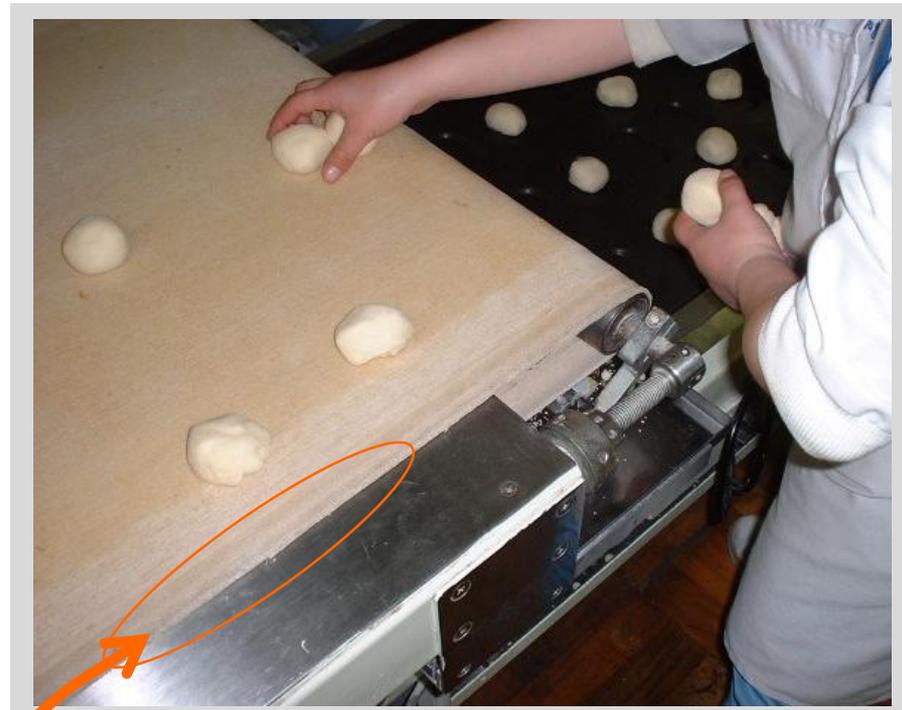
# 製品紹介(ベルト関連): 特殊コンベアベルト

- 鉄鋼・食品業界をメインに幅広い産業で使用される搬送用ベルト。
- 高温や零下などの特殊環境で使用されるベルトもあります。



## 鉄鋼用ベルト

高温の鉄鋼製品の傷防止用受けや、金属部品の熱処理・徐冷工程などに使用されるため、優れた耐熱性・耐寒性・クッション性があり、製品を傷つけないことが重要視されます。



## 食品用ベルト

抗菌・防カビ性・洗浄のしやすさなど、衛生面の配慮が必要です。また、繰り返し洗浄しても劣化しない耐久性などが求められます。

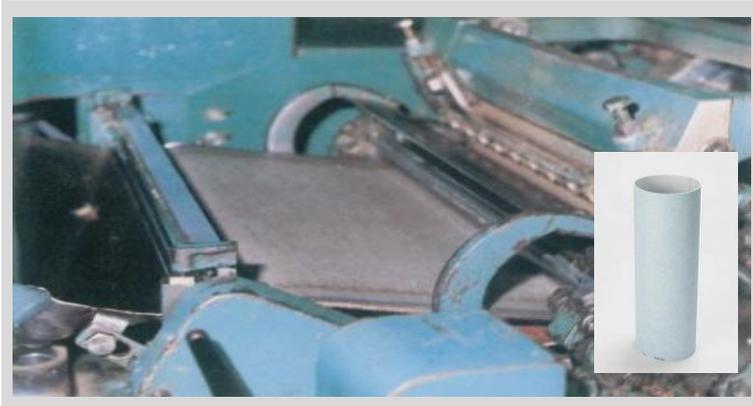
## ホツレーヌ加工

異物混入の原因を防ぐため、『耳(両端の繊維)ほつれ』を、ベルト両端耳部にウレタン溶着することで、繊維の露出をカバーしほつれによる異物混入を防ぐとともに、衛生管理および耐久性も大幅にアップさせます。



# 製品紹介(ベルト関連): 機能性ベルト

- 特殊ニーズに特化した機能を付帯しているベルト。
- 紡績用ベルトは、国内シェアNo. 1。高級繊維の製造用に使用されています。



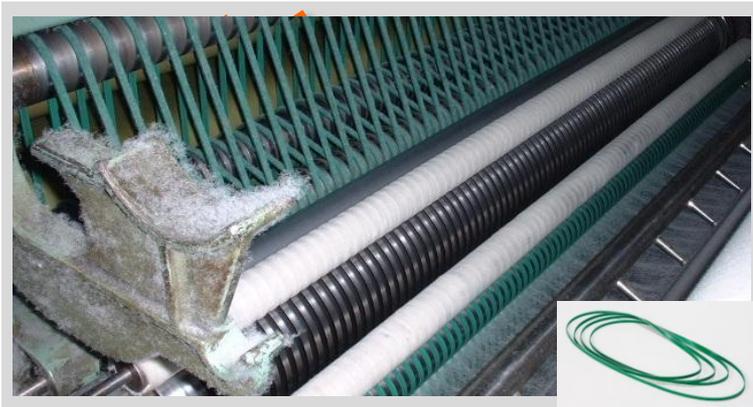
## コーマエプロン

紡績工程において綿の中にある短繊維や付着しているごみなどを除去するベルト



## ベルトラッパー

製鉄所の鋼板巻き取りに用いられるベルト



## コンデンサーテープ

紡績工程において糸の太さを決めるベルト



## まな板ベルト

食材を搬送中に刃物でカットできるベルト

# 製品紹介(その他):不織布

- 通気性・吸水性・吸油性・断熱性・緩衝性に加え、アラミド繊維や炭素繊維など多種多様な繊維を使用することで特殊機能を持った不織布を製造。
- 緩衝材、ベルトの棧材などに使用されます。



油分離用フィルタ



エアバグフィルタ  
集じん機で使用されるフィルタ



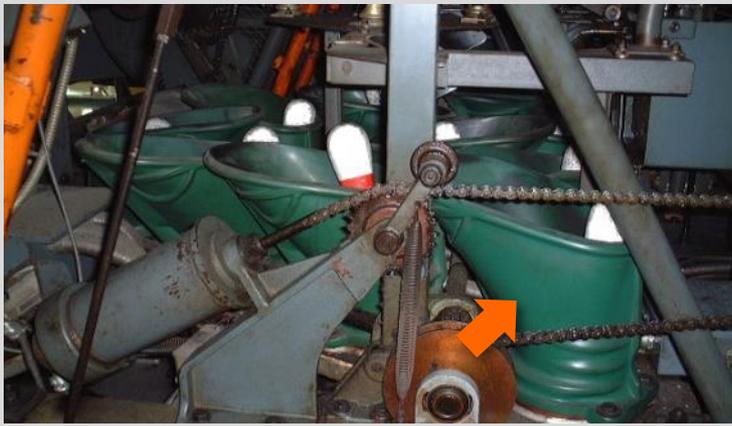
カット機等のクッション材



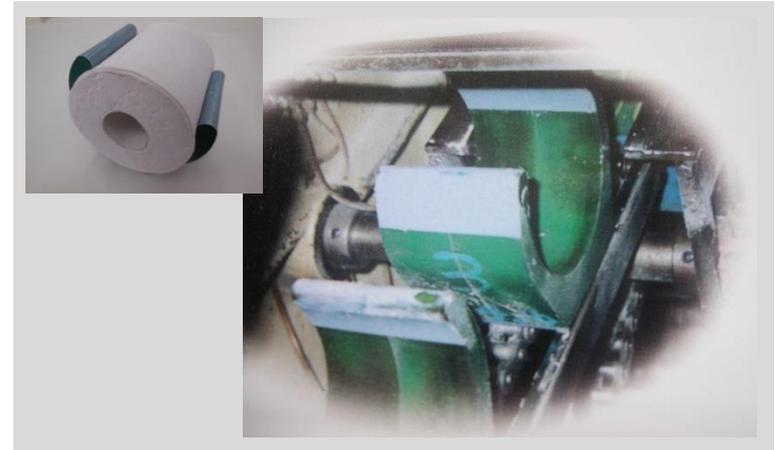
テンションパッド  
鉄をリールに巻き取る際、油を取り、シワが起きないように軽く抵抗を掛けるパッド

# 製品紹介(その他):発泡ウレタン

- 高い弾性回復率・優れた成形性・耐久性・抗張力を活かし、ゴムやポリ塩化ビニル (PVC) に代わる新素材。



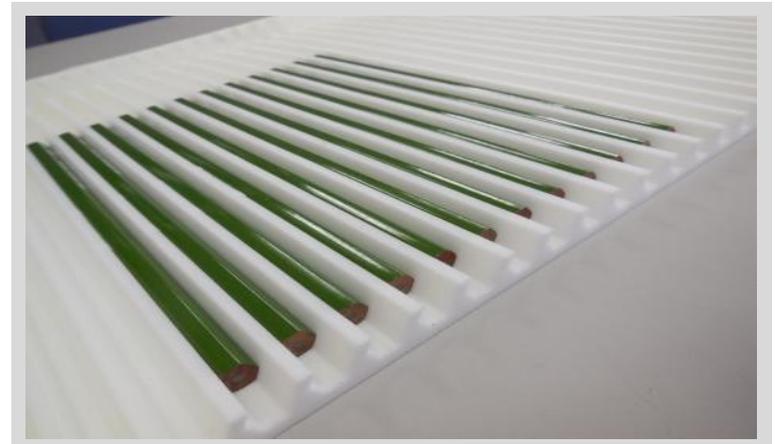
ボウリングシューター



トイレトペーパー包装用アーム



ボウリングのターンテーブル用部材



鉛筆搬送用クッション

# 衣、食、住との繋がり

様々な場面で、  
ポパール興業の技術が生きています。



今も幅広い層に愛されるレジャー施設、ボーリング場。ポパールの発泡ウレタンは、ここで毎日集めに精を出しています。

ビジネスシーンに欠かせないスーツ。その素材となる羊毛の長さを揃えたり、ゴミを除去したりする場面でもポパールお機能性ベルトが活躍しています。

甘くておいしいチョコレートの製造現場にもポパールの特殊コンベアベルトが、溶かしたチョコレートを再度冷やし固める工程で使われています。

お菓子を搬送したり箱を包んだりする機械に使われているのは、丈夫で衛生的なポパールの特殊コンベアベルト。より豊かで安全な食生活にも貢献します。

製本用の機械にもポパールの特殊コンベアベルトが。私たちお知恵の源である大切な本ができるまでのさまざまな工程を、高い技術で支えます。

製パン工場内でパン生地を伸ばしたり丸めたりする際には、ポパールの特殊コンベアベルトが活躍。おいしいパンづくりをサポートします。

業務用のトイレペーパーに多く見られる、紙による個包装。この包装を施す機器にもポパールの発泡ウレタンの技術が使われています。

精米機に使われるポパールの特殊コンベアベルトは、玄米から白米への精製をお手伝い。美味しいお米づくりにもポパールの技術が活かされています。

化粧品をはじめ、さまざまなボトル類のキャップをしめる機械で使われる特殊コンベアベルトも、ポパールの製品

私たちの住まいにはなくてはならないアルミサッシ。高熱に耐える加工を施したポパールの機能性ベルトは、その製造過程で大きな役割を担います。

鋼板などを帯状に切断する際に利用されるのが、ポパールの機能性ベルト。電子レンジや冷蔵庫等の製造現場には欠かせません。

現在でも広く使われているもっともベーシックな筆記用具、鉛筆。その製造工程を、ポパールの特殊コンベアベルトが黙々と支えています。

今やニッポンのお茶の間には欠かせない液晶テレビ。その製造工程でもポパールの研磨部材が用いられています。

おいしい餃子の皮をスピーディに大量に製造。餃子の皮を成型(型抜き)するポパールの特殊コンベアベルトがそれを可能にします。

ポパールの特殊コンベアベルトは缶ビールや缶ジュースの製造過程でも大活躍。私たちの生活を潤すのに一役買っています。

ピザを焼く窯や陶芸用の窯などに用いられる耐火煉瓦の製造現場でも、耐熱性に優れたポパールの機能性ベルトは引っ張りだこ。

クルマのボデー等に使われる鋼板は、ポパール特殊コンベアベルトを使用した機械で必要な形に切断されます。

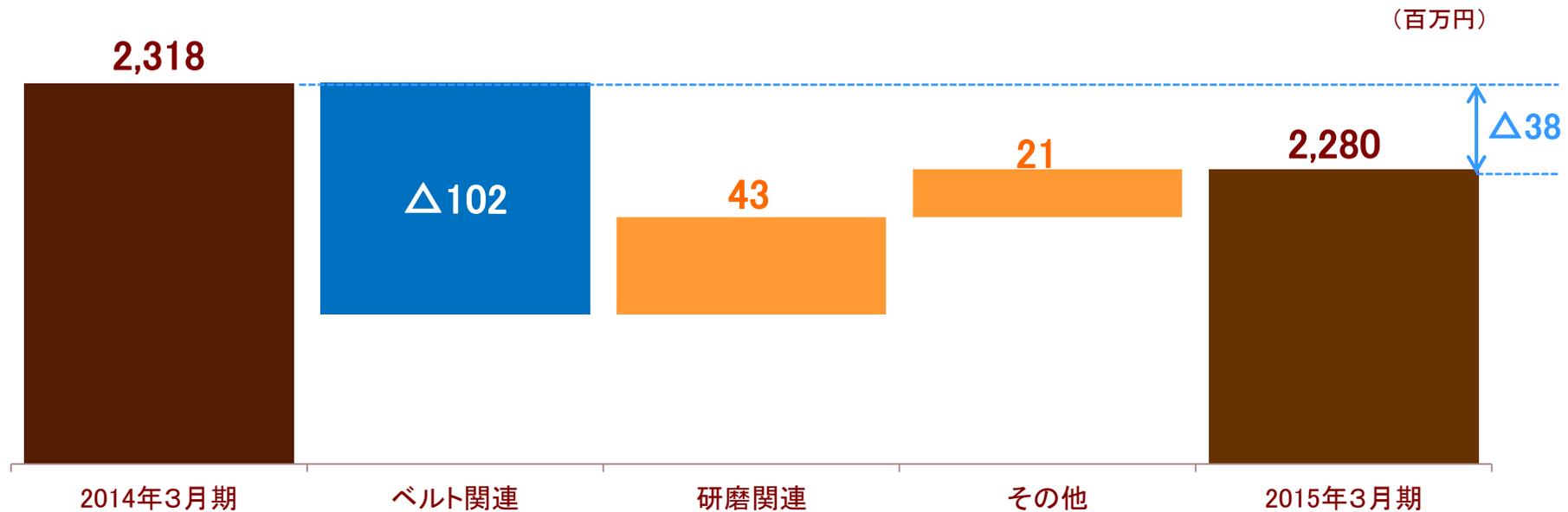
# 2015年3月期の業績

## 2015年3月期業績の状況(連結)

(百万円)

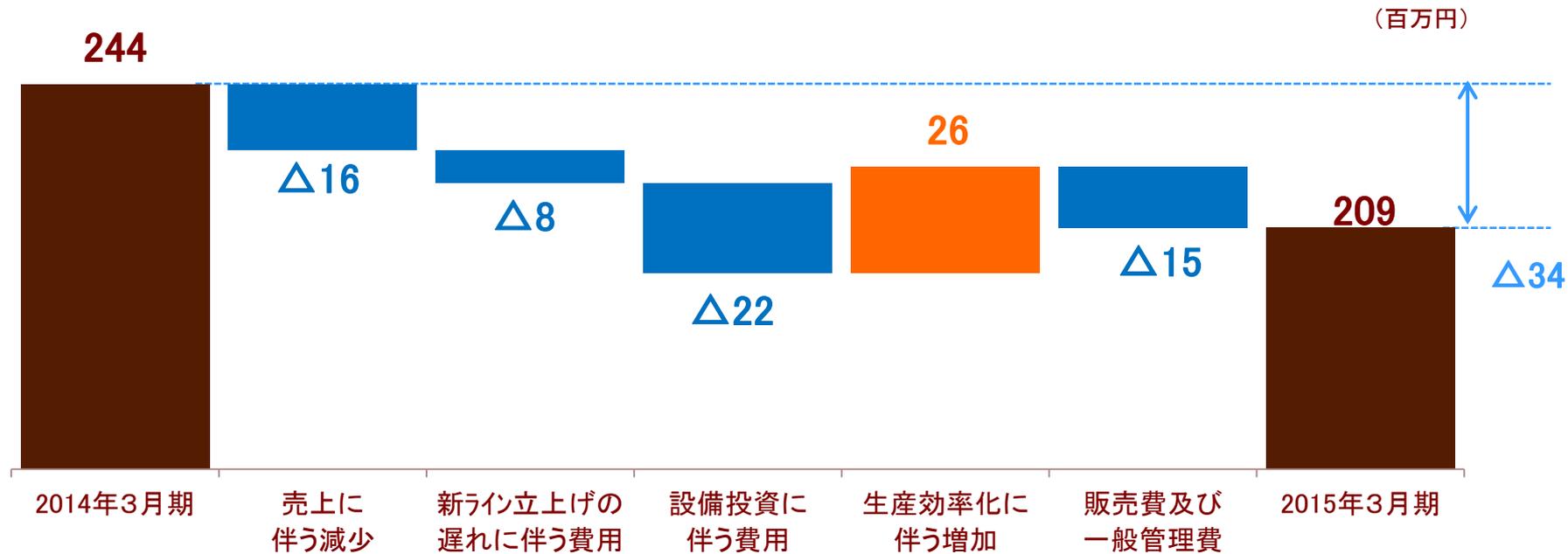
	2014年3月期	2015年3月期				
	(実績)	(計画)	(実績)	前年比(%)	計画比(%)	
売上高	2,318	2,392	2,280	98.3	95.3	
ベルト関連	1,233	1,275	1,131	91.7	88.7	
研磨関連	767	845	810	105.6	95.8	
その他	317	271	338	106.7	124.7	
営業利益	244	282	209	85.8	74.2	
経常利益	282	281	255	90.3	90.7	
当期純利益	214	191	198	92.7	103.6	
設備投資額	140	171	201	143.6		
減価償却費	78	102	100	127.9		
為替 レート	タイバーツ	3.18	3.15	3.26	102.5	
	韓国ウォン	0.09	0.09	0.10	112.6	
	人民元	15.9	16.0	17.2	108.1	

# 売上高の増減要因(連結)



- ◆ベルト関連: 国内における消費税増税前の駆け込み需要による反動減の影響。
- ◆研磨関連: 博宝楽輸送帯科技(昆山)有限公司において、今期より研磨関連の製造・販売が本格化したことに伴う増加。
- ◆その他: 不織布の好調に伴う増加。

# 営業利益の増減要因(連結)



- ◆ 売上の減少に伴い、利益の減少。
- ◆ 博宝楽輸送帯科技(昆山)有限公司における、ガラス研磨用部材の新ライン立上げの遅れに伴い、費用が増加。
- ◆ 設備投資に伴う、費用の増加。
- ◆ 生産効率化に伴う、利益の増加。
- ◆ 上場に伴う販売費及び一般管理費の増加。

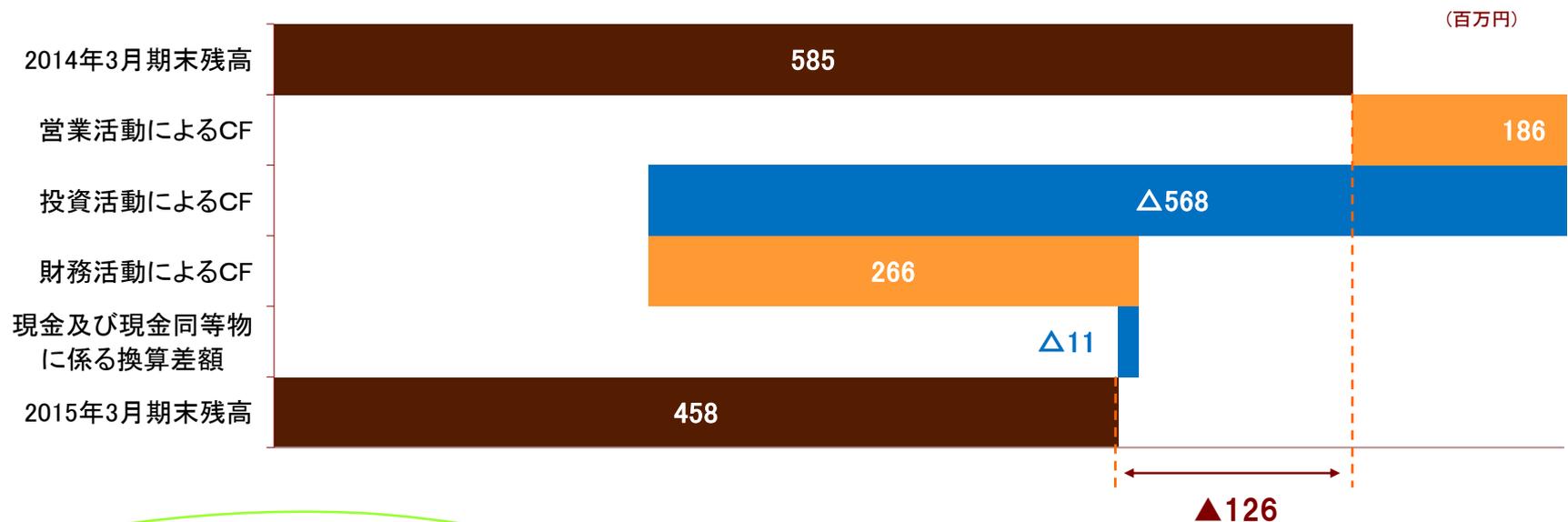
## 2015年3月期財務の状況(連結)

(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減
流動資産	1,928	2,046	118
現金及び預金	574	555	△18
受取手形及び売掛金	722	749	27
たな卸資産	508	638	129
その他	122	102	△19
固定資産	2,518	3,102	583
有形固定資産	1,981	2,153	171
無形固定資産	27	27	△0
投資その他の資産	509	921	412
資産合計	4,446	5,148	701
流動負債	492	521	28
固定負債	242	291	48
負債合計	735	812	77
純資産合計	3,711	4,335	624
負債・純資産合計	4,446	5,148	701
自己資本比率(%)	83.3	84.0	0.7

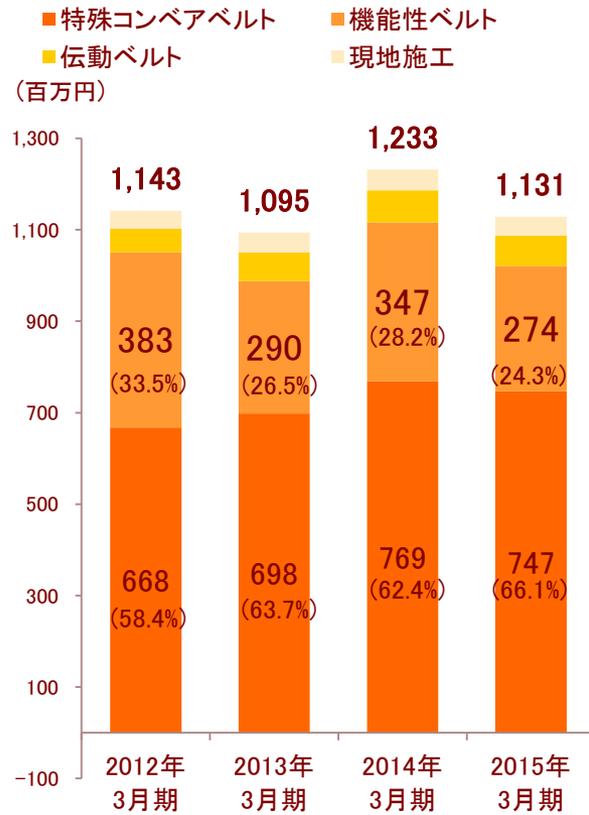
# 2015年3月期キャッシュの状況(連結)

	(百万円)	
	2014年3月期	2015年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	128	186
投資活動によるキャッシュフロー	△48	△568
財務活動によるキャッシュフロー	△15	266
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△11
現金及び現金同等物の期首残高	537	585
現金及び現金同等物の期末残高	585	458



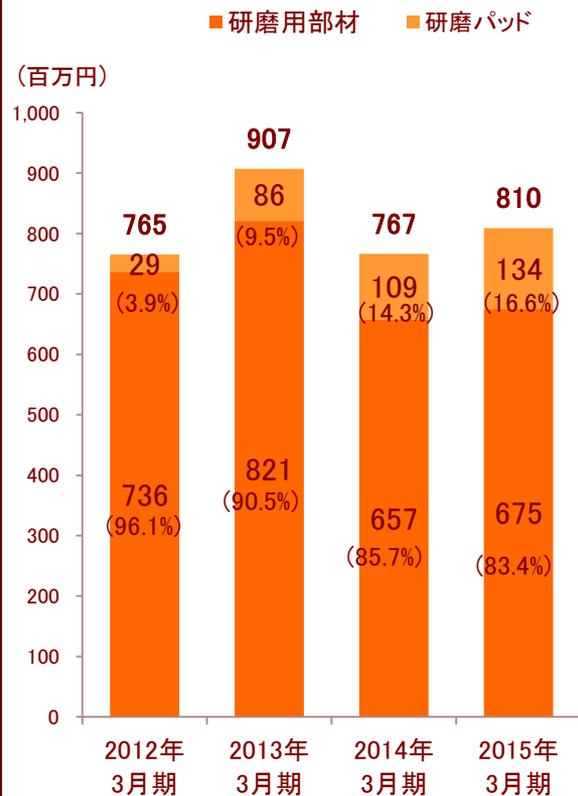
# 2015年3月期の状況(品目別)

## ベルト関連



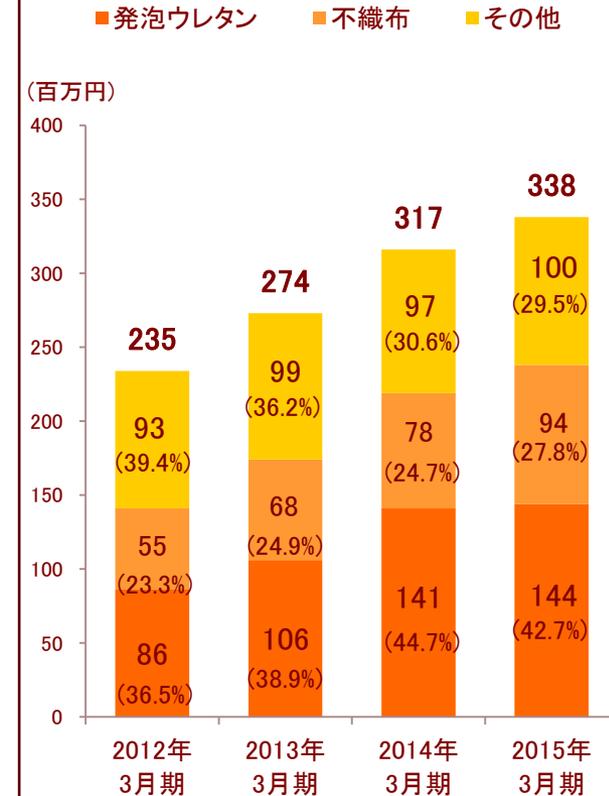
- 国内において、消費税増税前の駆け込み需要による反動が当初の予定よりも長期化

## 研磨関連



- 予定していた韓国メーカーへのサファイアガラス用研磨パッドの販売ができなかったものの、中国における得意先の使用ライン増加に伴い、ガラス用研磨部材が好調

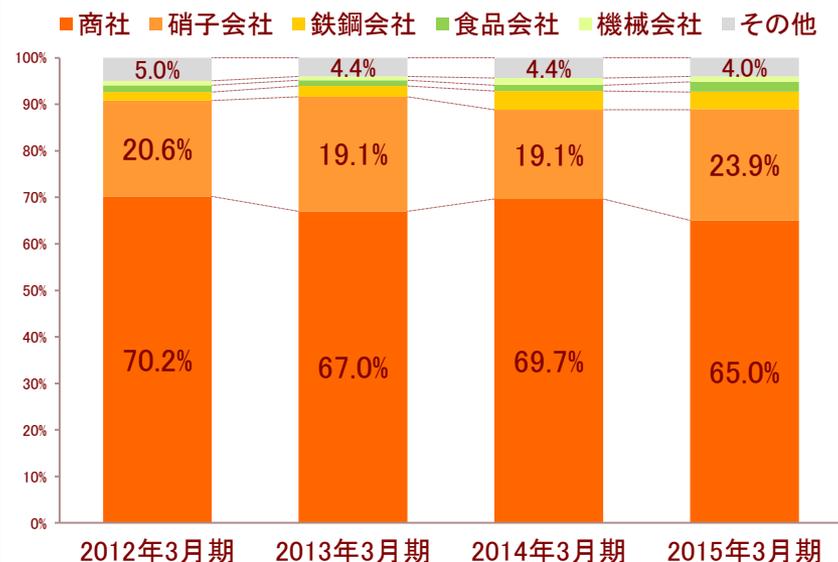
## その他



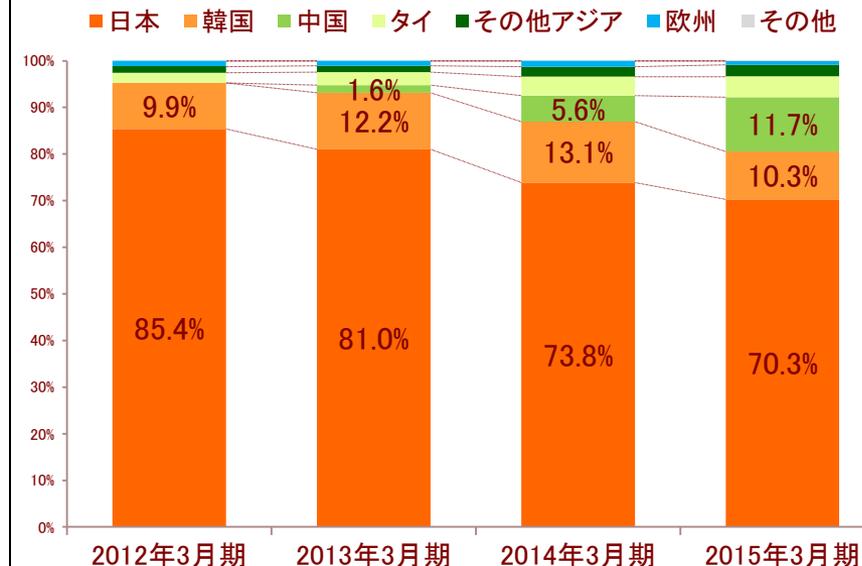
- 国内およびタイにおいて、家具・家電向けの不織布が好調
- インドネシアへの不織布販売開始

# 2015年3月期の顧客別売上高(連結)

## 業種別売上高



## 国別売上高



(百万円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
商社	1,505	1,526	1,615	1,482
硝子会社	442	560	443	544
鉄鋼会社	38	52	93	86
食品会社	31	28	31	47
機械会社	20	19	32	27
その他	106	90	101	91
合計	2,145	2,277	2,318	2,280

(百万円)

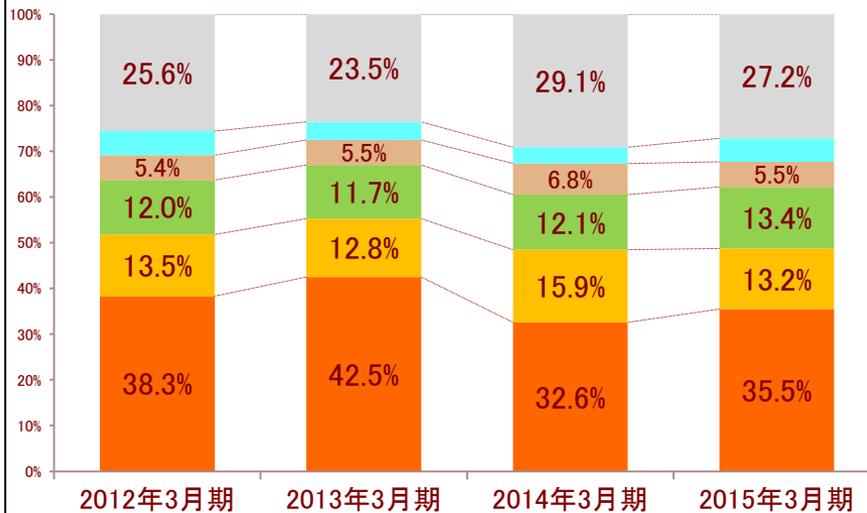
	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
日本	1,831	1,845	1,712	1,602
韓国	211	277	303	233
中国	0	36	129	265
タイ	47	64	94	102
その他アジア	31	30	49	56
欧州	23	23	29	17
その他	—	—	—	1
合計	2,145	2,277	2,318	2,280

※ 2012年3月期及び2013年3月期の連結累計期間については、IR独自の数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

# 2015年3月期のユーザー別売上高(連結)

## 業種別売上高

■ 硝子会社 ■ 鉄鋼会社 ■ 食品会社 ■ 紡績会社 ■ 自動車部品会社 ■ その他

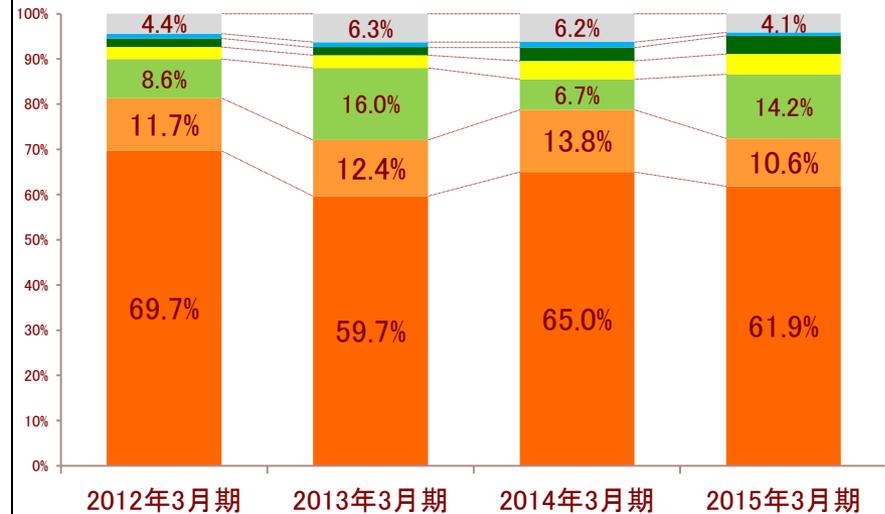


(百万円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
硝子会社	821	967	755	809
鉄鋼会社	289	290	367	301
食品会社	256	266	279	306
紡績会社	115	126	157	125
自動車部品会社	113	89	82	117
その他	548	536	674	619
合計	2,145	2,277	2,318	2,280

## 国別売上高

■ 日本 ■ 韓国 ■ 中国 ■ タイ ■ その他アジア ■ 欧州 ■ その他

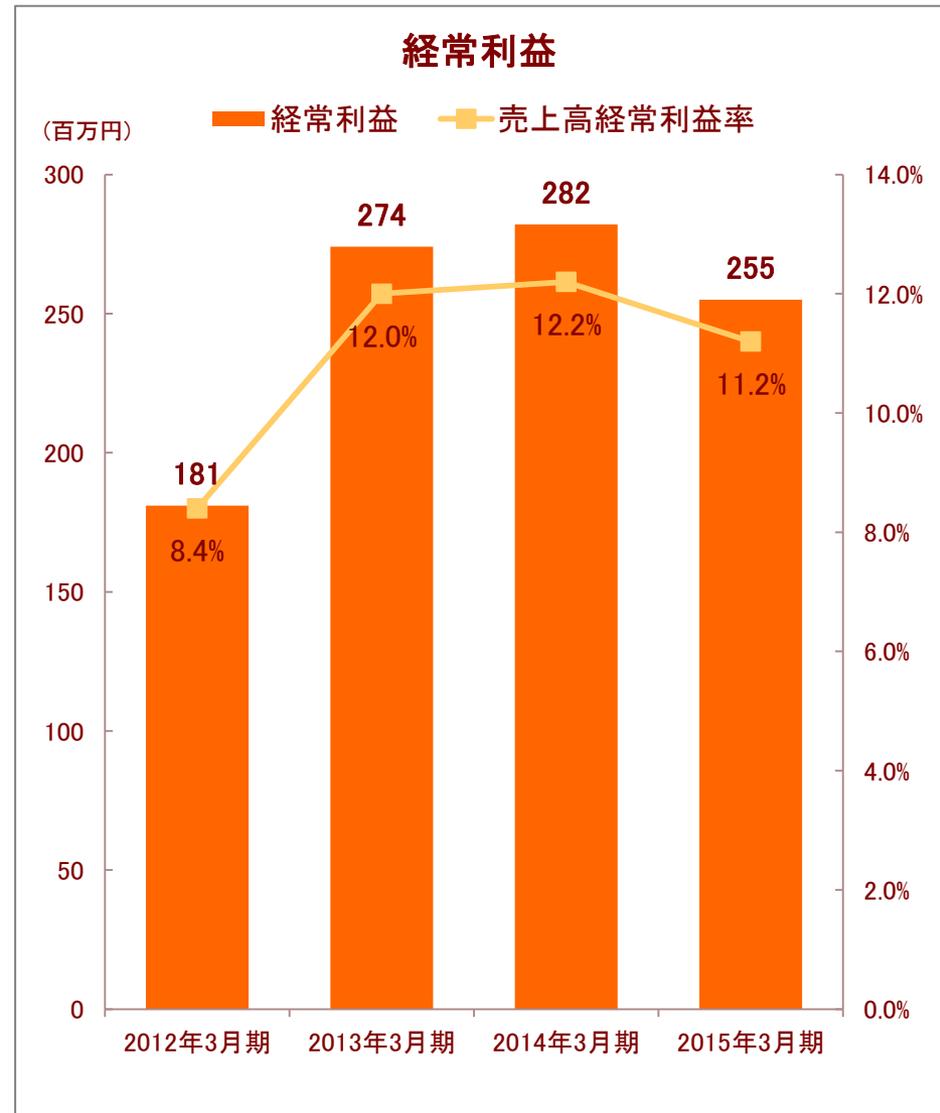
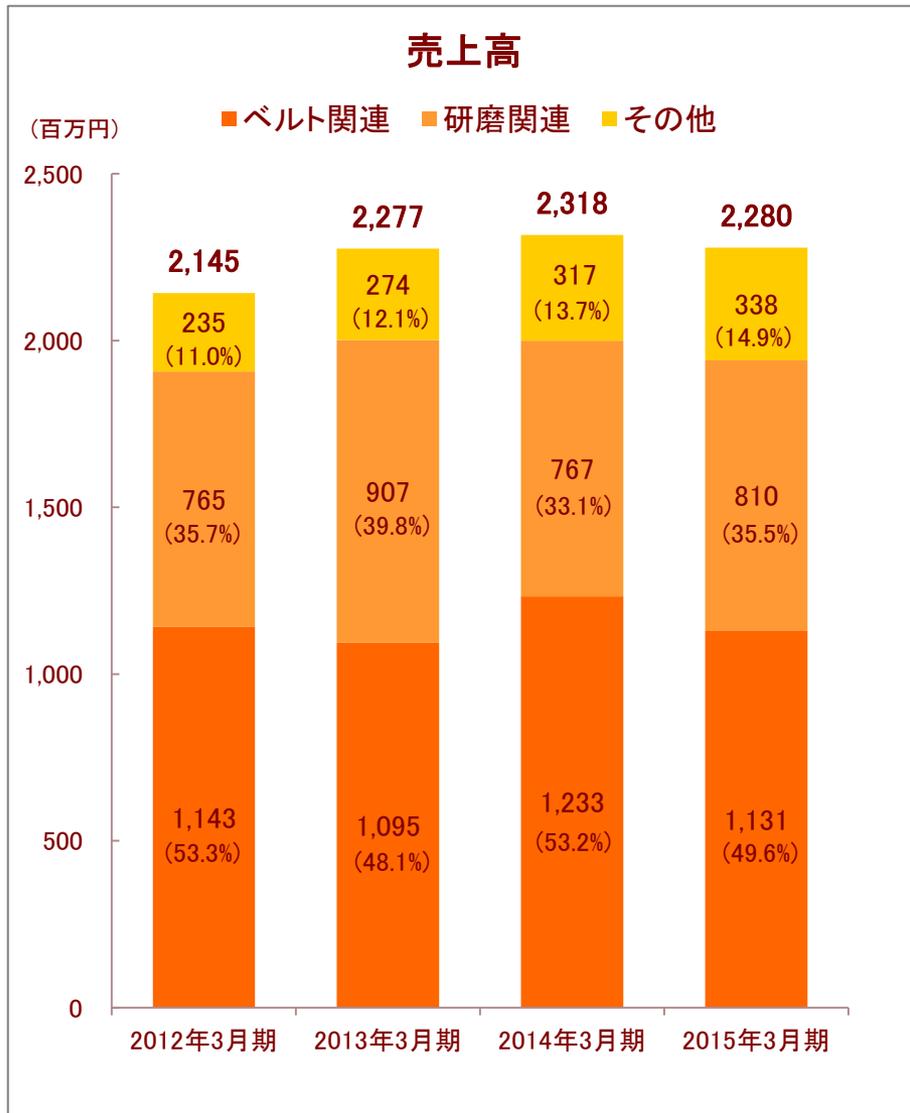


(百万円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
日本	1,494	1,358	1,507	1,410
韓国	250	282	319	241
中国	184	363	156	322
タイ	58	63	94	102
その他アジア	39	42	68	90
欧州	23	23	29	18
その他	94	142	144	93
合計	2,145	2,277	2,318	2,280

※ 2012年3月期及び2013年3月期の連結累計期間については、IR独自の数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

# 業績ハイライト(連結)



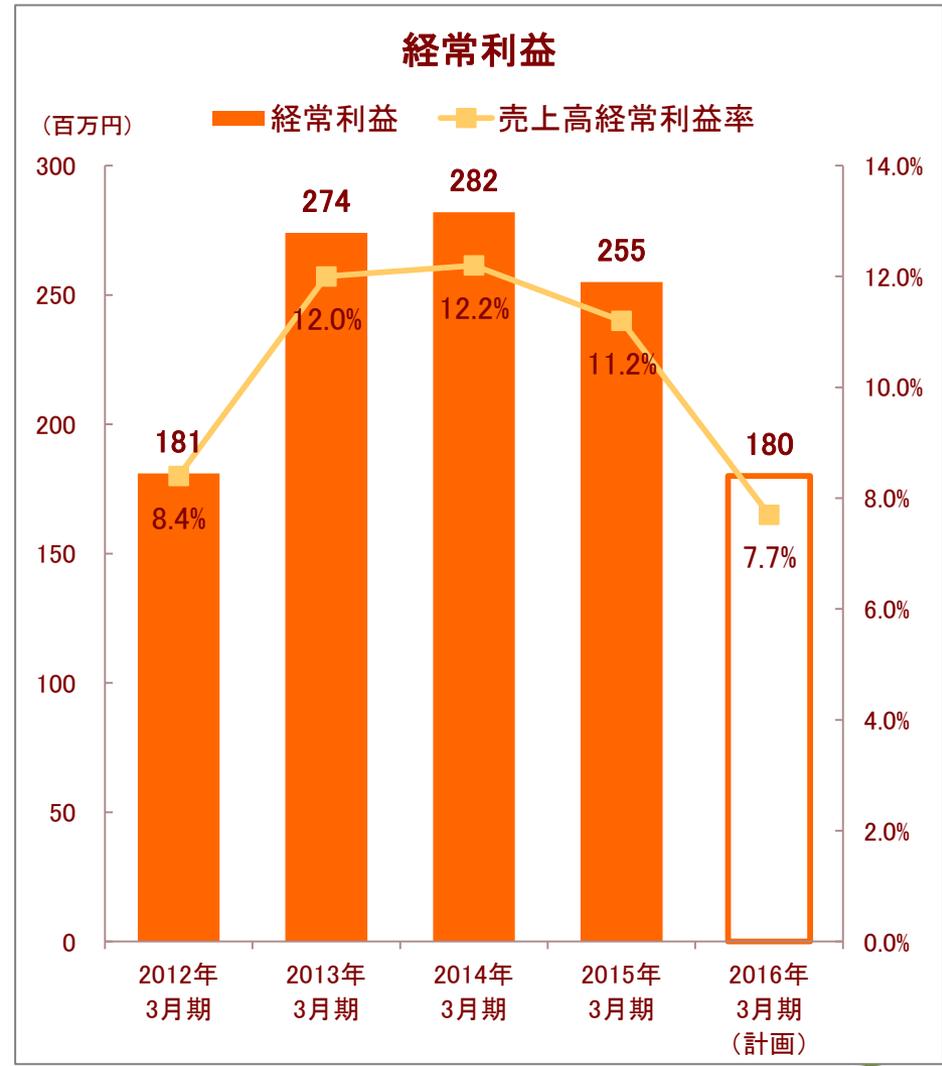
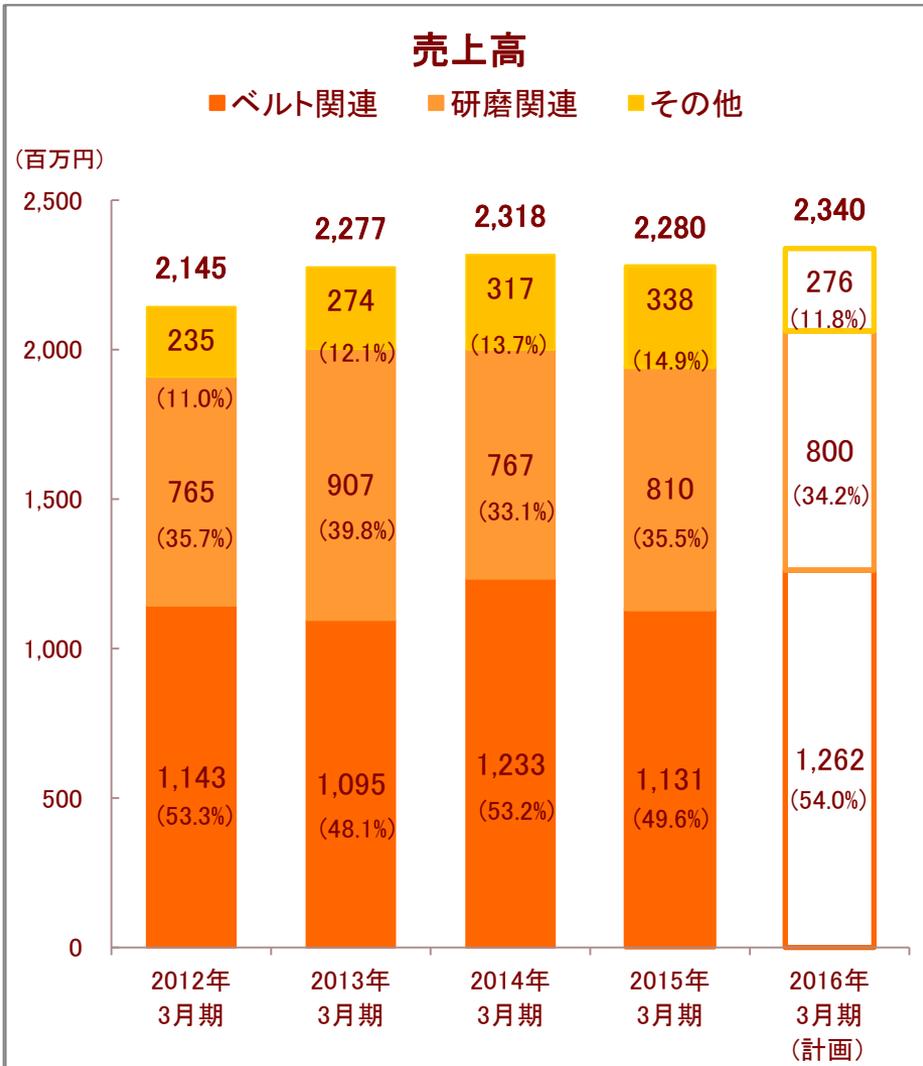
# 2016年3月期の見通し

## 2016年3月期通期見通し(連結)

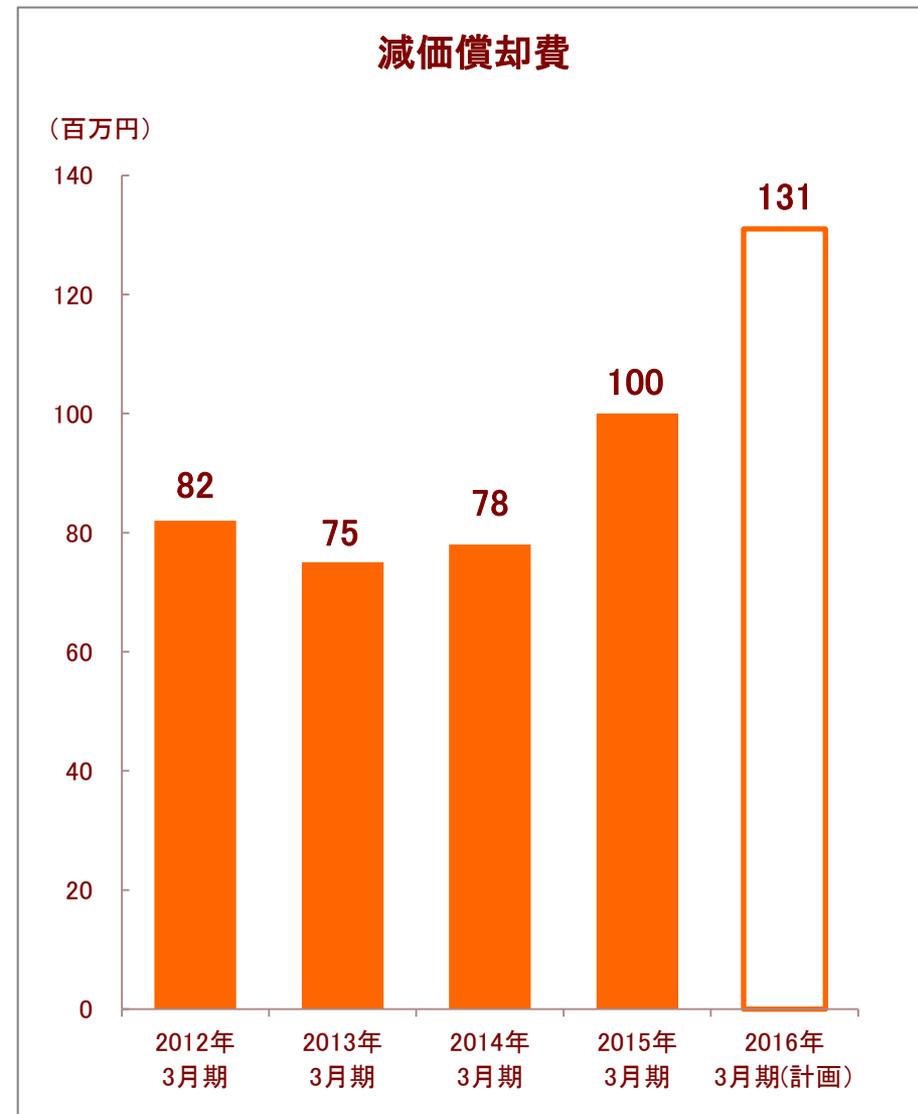
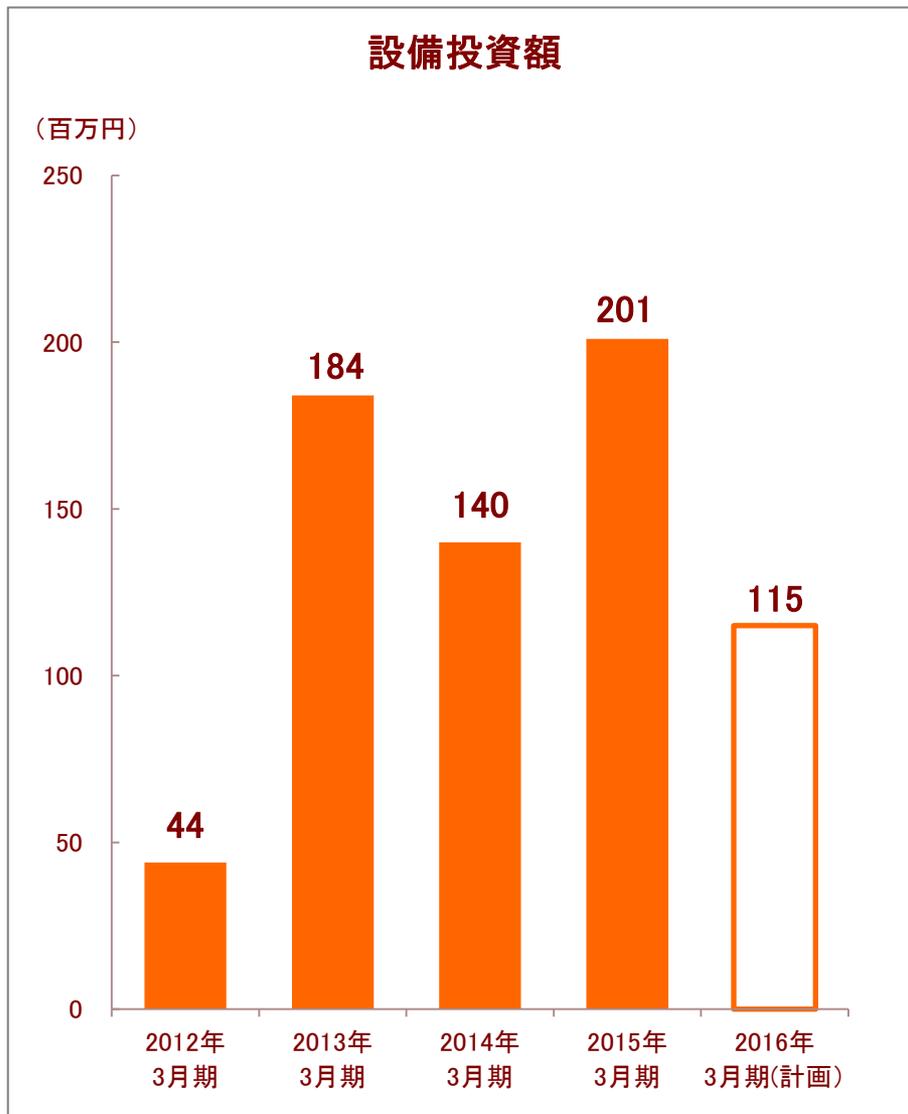
(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期	
	実績	(計画)	(前期比)	
売上高	2,280	2,340	102.6	
ベルト関連	1,131	1,262	111.7	
研磨関連	810	800	98.8	
その他	338	276	81.7	
営業利益	209	154	73.8	
経常利益	255	180	70.9	
当期純利益	198	140	70.7	
設備投資額	201	115	57.2	
減価償却費	100	131	131.0	
為替 レート	タイバーツ	3.26	3.30	
	韓国ウォン	0.10	0.11	
	人民元	17.2	20.0	

# 2016年3月期見通し(連結)②



# 設備投資額・減価償却費



# 配当政策

- 将来の企業成長に必要な内部留保を確保しつつ、長期にわたり安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

(単位:円)

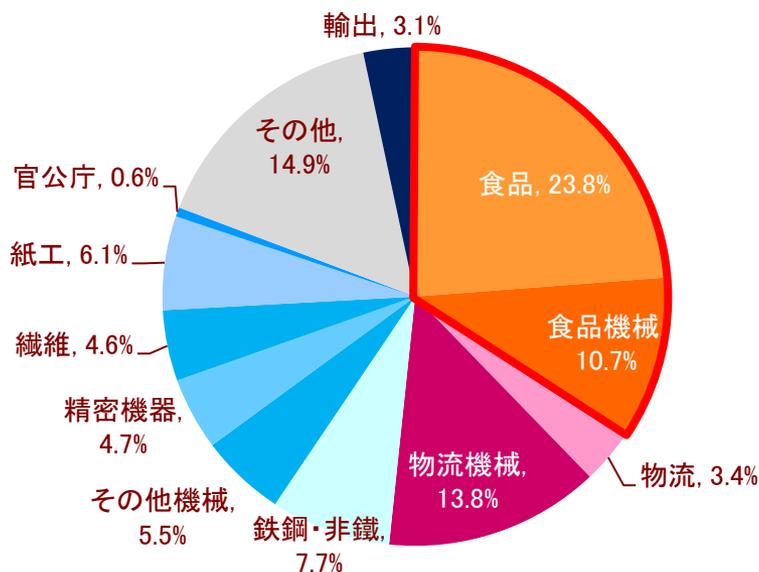
	中間配当	期末配当	年間配当	配当性向
2014年3月期	—	18.0	18.0	8.6%
2015年3月期	—	30.0	30.0	18.8%
2016年3月期(予)	—	30.0	30.0	28.1%

# 外部環境

# 【ベルト】国内における樹脂ベルトの動向

- 樹脂ベルト生産の主要需要状況によると、底堅い需要のある食品・食品機械は、約35%を占める重要な産業です。
- 食品業界は、衛生管理に対しての要求が非常に厳しく、特殊コンベアベルトが果たす役割は日々大きくなっています。

2014年上半期需要先別販売状況

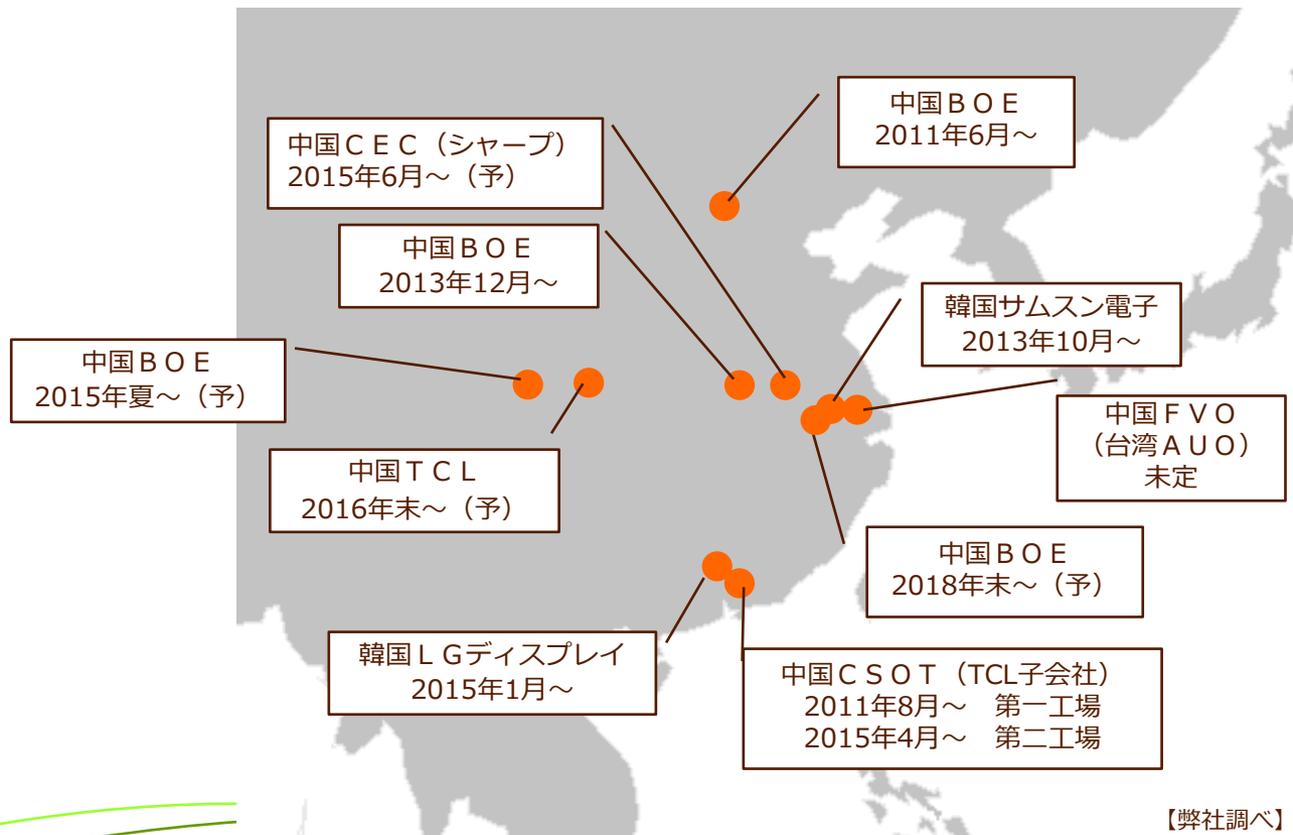


## 防縮ベルト

水洗用途での防縮対策に効果あり。  
耐湿熱性を持ち安全性に優れた抗菌・防カビ・耳ホツレ防止加工対応製品。

# 【研磨】大型FPDの出荷動向

- 中国政府は、テレビ用の新型パネル自給率を2015年時点で80%以上へ引き上げる方針を示しており、中国メーカーは政府の支援を追い風に成長を加速させるとみられています。
- また、中国国内において、今後も大型工場の稼働が予定されており、中国での増産ラッシュが見込まれています。



# 次世代デバイスの動向

600～1200V以上の高電圧、大容量の電力を低損失に扱える“SiC”は、IGBT(シリコンデバイス)を置き換える次世代デバイス基板の新素材として注目されています。

メカトロニクス/エレクトロニクス関連の最新の要素技術が一堂に集結する「TECHNO-FRONTIER 2014」(2014年7月23～25日、東京ビッグサイトにて開催)では、参加した半導体メーカーからSiCやGaNといった次世代デバイス基板の展示が多く見られました。

年月日	企業名	最近の次世代デバイスに関する発表内容
2014年 11月26日	東芝	パワー半導体やLEDの研究所を石川県に集約。生産子会社の向上に実験室などが入る技術棟を2015年秋に新設。
2014年 11月13日	日本電産	インバーターに次世代半導体(SiC半導体)を搭載した小型モーター稼働システムの試作機開発を発表。家電や産業、車載向けに2017年以降、順次、製品化を目指す。
2014年 10月1日	ローム	次世代パワー半導体の実用化に向けた新会社を福島県内に立ち上げ。
2014年 6月5日	ローム、住友電気工業など	次世代パワー半導体の普及へロームや住友電気工業など11社8大学が共同研究を本格始動。
2014年 5月20日	トヨタ自動車	SiCパワー半導体の開発を発表。2020年までにパワー半導体を使用した車両を量産したいとの考え。燃費10%高めることを目指す。
2014年 5月1日	小田原電鉄	通勤車両にフルSiCのインバーターを採用。従来車両と比べて満員乗車時で最大36%の電力を削減が可能。
2014年 4月26日	富士電機	技術開発センターを2015年3月に完成させ、分散している技術・開発部門を集約し開発を加速させると発表。
2014年 4月12日	昭和電工	次世代パワー半導体材料を電気自動車などエコカー向けに増産する。2020年までには現在の約10倍の月産2万5千枚にすると発表。



パワー半導体の世界市場規模推移と予測



【出所: 株式会社野村総合研究所】

# 中期経営計画

# 中期経営計画

1 新規顧客の開拓

2 成長事業の推進

3 新規事業の創出

4 人的資源の向上



※ 2012年3月期より連結財務諸表を作成しております。

※ 2010年3月期～2011年3月期においては、IR独自の数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

• **基本方針**

接着・樹脂加工を基盤とし、

拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開

# 1. 新規顧客の開拓

- ソリューションビジネスの推進を行い、  
新たな視点で新規顧客を開拓していきます。

既存の考え方

「もの」を売る



ソリューションビジネスの考え方

総合接着樹脂加工技術により、不可能を可能に。  
お客様の要望を見つけ出し、  
素材選定技術・接着技術・樹脂加工技術を  
駆使することで、解決方法を提案する。

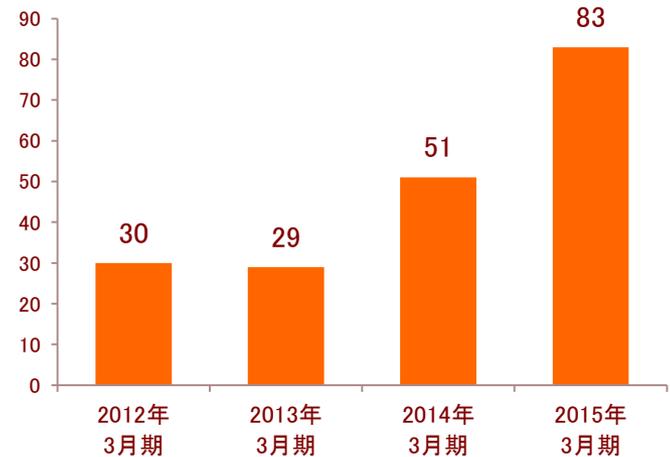
ベルト  
関連

研磨  
関連

その他  
事業

新規開拓売上高推移(単体)

百万円



# 1. 新規顧客の開拓②

- ベルトの品種拡大に伴い、  
新たな商圏へ挑戦していきます。

4月1日より、ウレタンタイミングベルトの品種を拡大しました。  
これにより、動力伝達用ベルト分野への販売を本格化。  
この商圏への販売を機に、既存ベルトの販売にも繋げていきます。

ベルト  
関連

研磨  
関連

その他  
事業

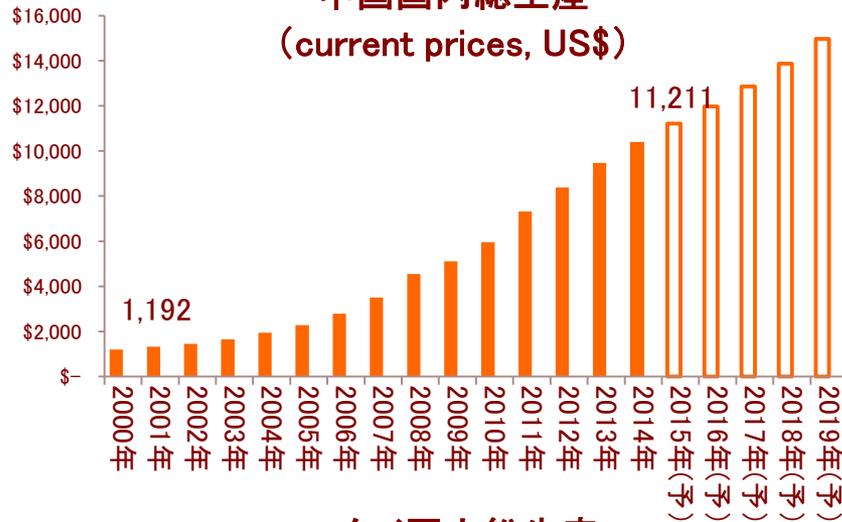


# 2.成長事業の推進



・ 今後も成長が期待されるアジアでの事業拡大を 推進します。

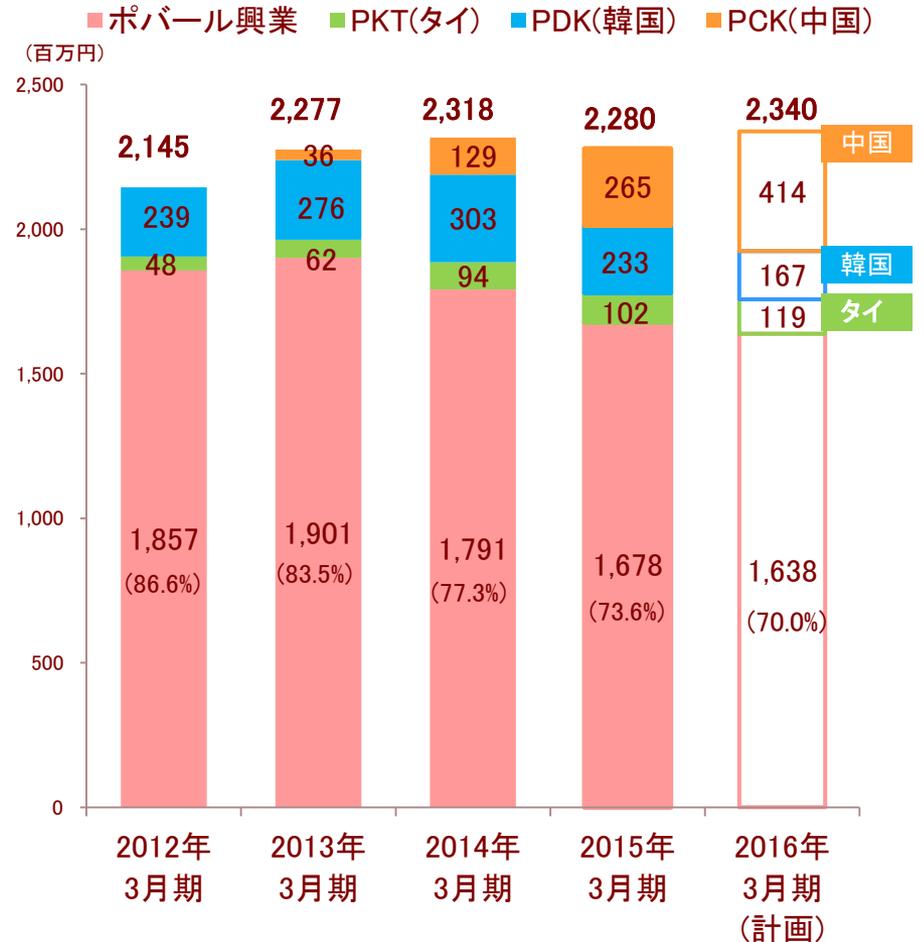
中国国内総生産  
(current prices, US\$)



タイ国内総生産  
(current prices, US\$)



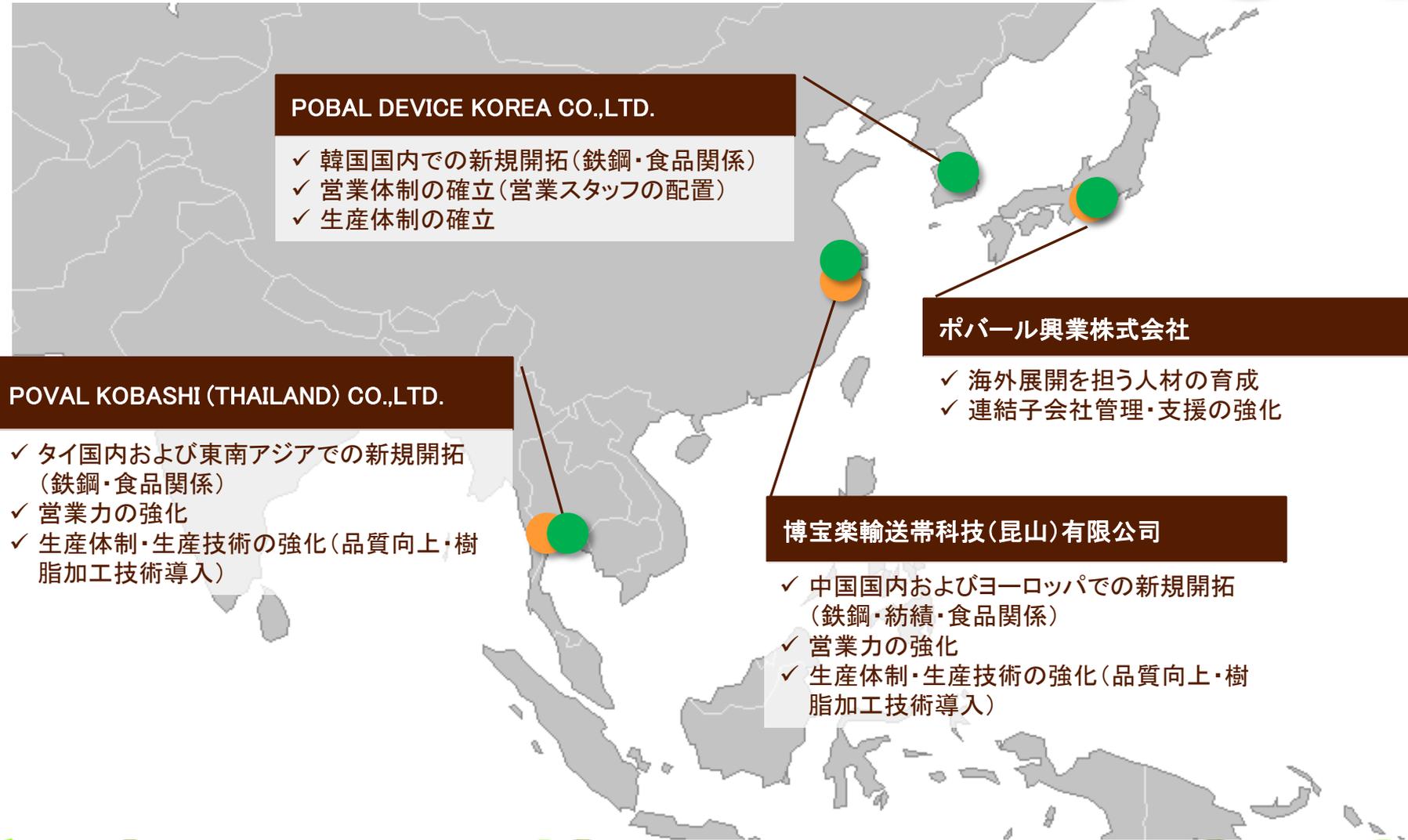
会社別売上高推移



※ 会社別売上高推移の会社別の数値については、IR独自の数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

## 2. 成長事業の推進②

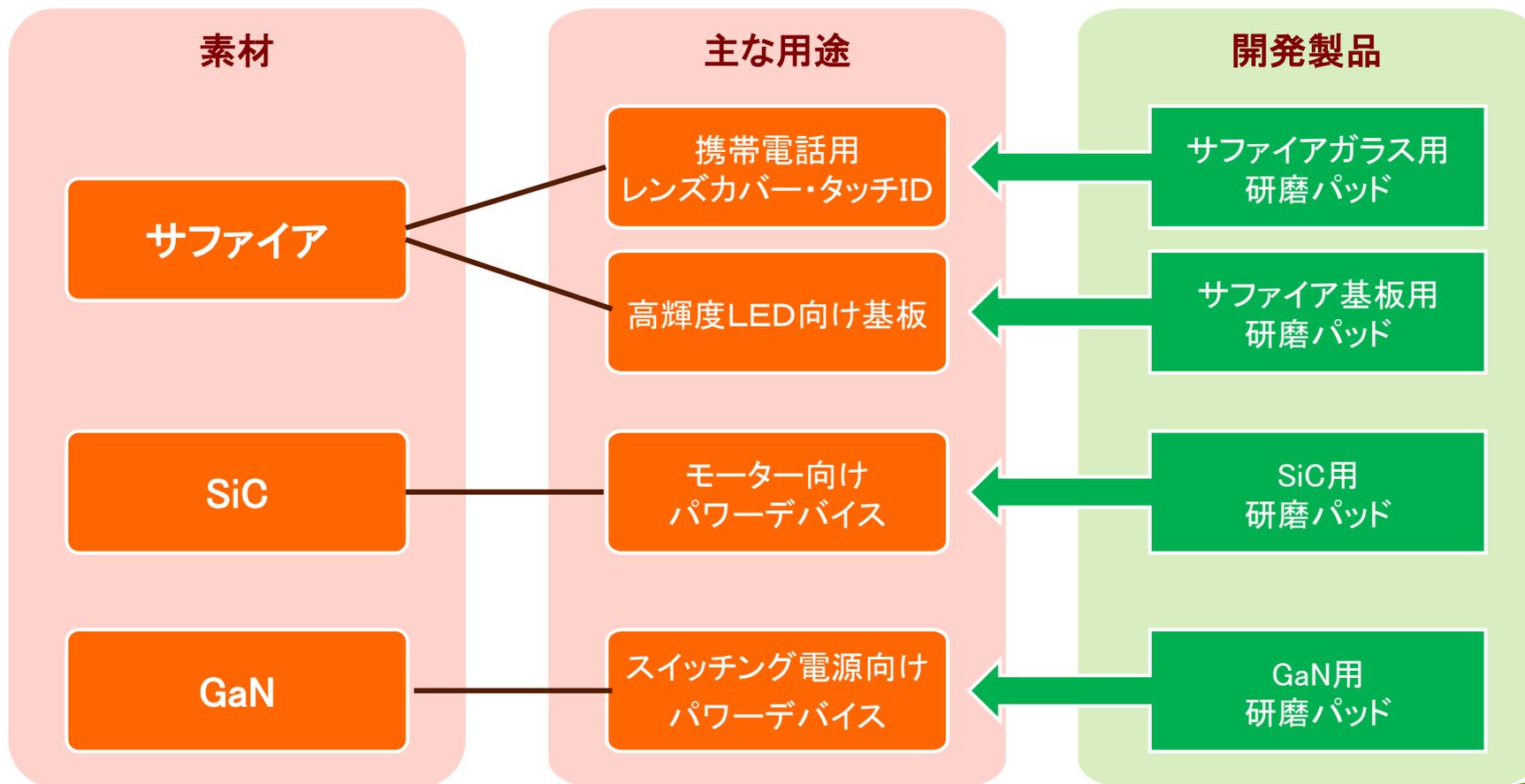
- ・アジアでの事業拡大に伴い、海外基盤の強化を図ります。



# 3.新規事業の創出

研磨  
関連

- ユーザーのニーズを受け、3つのコア技術を駆使し、超高硬度素材向け高能率・高精度研磨パッドの開発を進めてまいります。





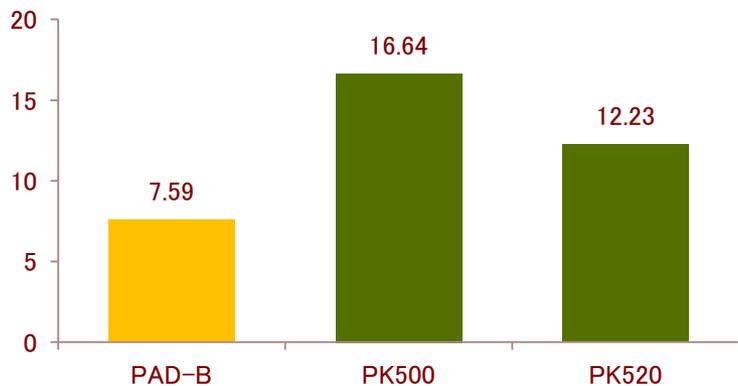
# 3.新規事業の創出②

## サファイア基板用研磨パッド

サファイア基板は、昨今は青色・白色LEDチップとして使用される他、モバイル端末などのガラスとしての用途が有りいずれの分野でも適用拡大が見込まれています。

原子レベルでの平坦性・高い形状精度と同時に、研磨時間短縮・砥粒使用量削減や基板サイズの大口径化など加工効率と品質の向上が求められています。

弊社サファイア基盤用研磨パッドの研削量 (μm/h)



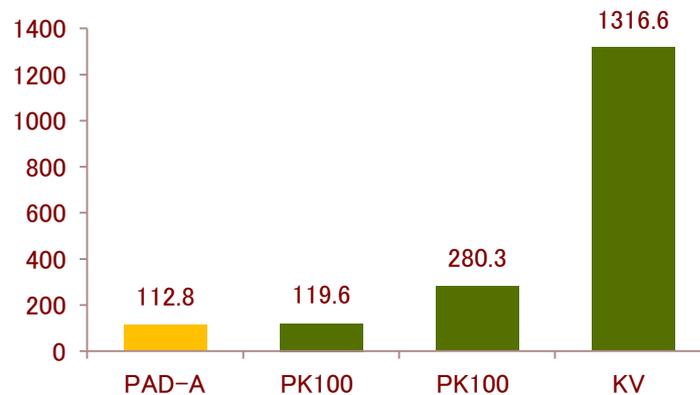
Testing condition	
Machine	Fujikoshi 36inch
Diameter of surface plate	φ 900mm
Pressure	39kPa
Number of rotation	60rpm
Slurry	C
	Circulation system
	13L/min

※Data is based on our measurement method.

## SiC用研磨パッド

SiCは、地球上で3番目に硬い化合物で、高硬度・高脆性のため、表面研磨加工が非常に困難な材料です。しかし近年急速に加工技術が進化し、鉄道や自動車などにSiCを使用したデバイスが搭載され始めてきています。今はまだ市場が確立されていませんが、近い将来急激に拡大すると見込まれています。

弊社SiC基盤用研磨パッドの研削量 (nm/h)



Testing condition				
	PAD-A	PK100	PK100	KV
	(Low pressure)		(High pressure)	
Machine	FAM 32inch	FAM 32inch	FAM 32inch	LM 36inch
Diameter of surface plate	φ 812mm	φ 812mm	φ 812mm	φ 915mm
Pressure	26kPa	26kPa	70kPa	70kPa
Number of rotation	35 rpm	35 rpm	50 rpm	50 rpm
slurry	A	A	A	B
	1way	1way	1way	Circulation system
	15ml/min	15ml/min	50ml/min	3L/min

※Data is based on our measurement method.

# 4. 人的資源の向上

## • 新社長就任

2015年6月26日に、

神田隆生(現 代表取締役社長)が代表取締役会長に、  
松井孝敏(現 取締役営業部長)が代表取締役社長に  
就任する予定です。



松井孝敏

神田隆生

経営トップの若返りを図り、新しい経営体制の下、  
時代の変化に対応しながら安定した経営基盤の確立と  
いっそうの企業価値の向上に努めてまいります。

## • 世代交代の推進

会長・社長だけでなく、全ての部の  
部長の世代交代を行いました。

各部長職をはじめとし、  
30代・40代を含めた抜擢  
人事を行い、若返りによる  
社内の活性化を行います。



# 将来見通しに関する注意事項

- ・ 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・ また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ・ また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

- ・ IRについてのお問い合わせ先  
ポバール興業株式会社 管理部 経営企画課  
TEL:052-419-1827  
E-Mail:ir@poval.co.jp  
URL: <http://www.poval.co.jp>